

NEW OKUNO HOSOMICHI-YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート

⑱

果樹園と沼のみち

Kaju-en-to-numa-no-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

- ・ 上山市皆沢までは
かみのやま温泉駅からバス又は車で15分。
- ・ 羽前中山までは
かみのやま温泉駅から車で5分。



観光・宿泊のお問合せ	上山市観光協会 〒999-31 上山市南町8-21	☎0236-72-0839
	JRかみのやま温泉駅観光案内所 〒999-31 上山市矢来1-1-1	☎0236-72-5703
交通のお問合せ	JRかみのやま温泉駅 〒999-31 上山市矢来1-1-1	☎0236-72-0049
コースのお問合せ	上山市商工観光課 〒999-31 上山市河崎1-1-10	☎0236-72-1111
	山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2207

表紙の写真は、沼とさくらんぼの花

みどころ案内
GUIDE

上山出身の歌人
斎藤茂吉の歌碑

Saito-mokichi-no-kahi

「桜桃の 花しらじらと咲き群るる 川べをゆけば 母をしそおもふ」
『果樹園と沼のみち』のスタート地点に、案内標識と並び上山市出身の歌人・斎藤茂吉の歌碑があります。

斎藤茂吉は、明治15年(1882)、現在の上山市金瓶に森谷伝右衛門の三男として生まれました。幼い頃から非凡な資質をもち、上山尋常高等小学校を卒業後は、同村出身で東京で開業医をしていた斎藤紀一の後継ぎとして医学の道を進んでいましたが、正岡子規遺稿「竹の里歌」を読んで作歌を志すようになり、東京帝国大学在学中に伊藤左千夫に師事し「アララギ」の同人となりました。

茂吉が作った歌の数は17,000首にもおよびます。現在、歌碑は上山市内の18をはじめ、北海道から鹿児島まで115の歌碑が建立されています。

※アララギ…明治から昭和初期まで刊行された短歌雑誌。茂吉はこの編集にたずさわった。



皆沢の斎藤茂吉歌碑

観光果樹園

Kanko-kajuen

『甘い!ちっちゃなかわいい妖精・サクランボ』『一粒一粒に芳醇な果汁たっぶり・ブドウ』『みずみずしい風味とシャキッとした歯ごたえ・リンゴ』『まろやかな風味と香りて魅了!ラ・フランス』など、6月から11月まで、もぎたてのしかも果物のもつ深い味わいと出会うことができます。また、4月下旬から5月初旬まで、サクランボ、リンゴ、ラ・フランスなど花が咲き乱れます。

上山市観光果樹園協議会に加盟する果樹園は11件あり、それぞれ、果物のもぎとりを体験できます。



さくらんぼ

ラ・フランス

前川治水ダム

Maekawa-chisui-damu

前川は一級河川最上川水系須川の左支川であり、源を南陽市新田の丘陵地に発しています。国道13号線と奥羽本線に沿って流下し、上山市街地を貫流して須川に合流する流域面積78km²、流路延長16kmの河川です。ダム地点の計画洪水流量は140立方m/sであり、全量の洪水調節を行い、南陽市小岩沢から下流の水害を防いでいます。

貯水池からの放流によって、前川沿岸の水田約123haにかんがい用水を供給するとともに流水の正常な機能の維持と増進を図っているもので

羽州街道沿いに位置する皆沢地区から上山市の南の玄関口となる中山地区へと通じるこの道は、フルーツ・ラインと呼ばれ、春にはリンゴのややピンクを帯びた白い花や、サクランボの純白に近い花弁が道の両側を埋めつくし、爽やかな秋には黄金の田園風景をのぞむことができます。

さらに、田園風景を眺めながら進むと、盆地の水不足解消のためというため池が点在しており牧歌的な雰囲気を感じながら、前川ダムへと向かう。前川ダムは、新緑や紅葉、ヘラブナ釣りなども楽しめ、終点の中山まで季節感豊かな風景のなかをのんびり歩くことで、新しい旅が満喫できるコースです。

あり、昭和43年の予備調査から昭和57年の完成まで、14年の歳月と122億円を超える巨費が投じられています。

シーズンともなれば、ダムの周回は、ヘラブナ釣りを楽しむファミリーなどで賑わいます。



ヘラブナ釣りでも有名



- 位置：山形県上山市川口地区内
- 型式：ロックフィルダム
- 型高：50m
- 堤頂高：10m
- 堤頂長：265.5m

首塚

Kubizuka

慶長5年(1600)関ヶ原の天下分け目の合戦の時、山形城主最上義光は徳川家康に味方し、伊達政宗と共に後方から上杉景勝を牽制する作戦にでました。上杉の将直江山城守兼統(米沢城主30万石)は、急ぎ会津より米沢城に帰り最上攻撃の軍議を整え、慶長5年9月16日、上山城攻撃の作戦を軍評定により決しました。

そして、石曾根、高松、藤吾、阿弥陀地、細谷より小穴にかけての一带が戦場と化し、この戦いで第一隊の横田式部旨俊は「上の台」において討死しました。そのなきがらをこの大将塚(首塚)に葬ったと伝えられています。

その時、大将と共に勇敢に戦った兵卒多数も戦死し、世に言う「物見山の合戦」がいかに激戦であったかが想像できます。



首塚の由来

中山・白髭神社

Nakayama-shirahige-jinja

中山の白髭神社は、文献等の不足から不明な点が多く、建立の時期、建立の目的、祭神等が明らかではありません。

しかし、「山形県神社誌」や「赤湯町史」によれば、祭神は久延昆古命で和銅7年(714)近江国高島郡の白髭神社の神霊を勧請し、社殿を建立したと伝えられ、伊達政宗が夏刈(高島町)の資福寺在任の時、四石四斗八升五合の社領を奉納したともいわれています。また、上杉景勝が米沢に入部後もそのまま社領となっています。

白髭神社は、全国に分布していますが、特に山形県には多く所在し、特に庄内地方と置賜地方に集中しています。

中山の白髭神社の御神像は、顎髭を長く垂らした老人の座像であり、水神として信仰され、室町中期の作と見られています。また、神社に伝えられている獅子頭は上山市内でも珍しく、神社に奉納する獅子は中山の一例だけとなっています。

※近江国…現在の滋賀県。
※社領…神社の領地。



白髭神社

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・ たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・ 案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・ 美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・ そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。